

## 企業探訪



片野社長



# 株式会社 環境研究センター

代表取締役 片野 明氏

### ■会社概要

本社：茨城県つくば市羽成3-1  
名古屋事務所：愛知県名古屋市中区丸の内3-6-17-9F  
北関東事務所：埼玉県さいたま市見沼区春野3-18-1-105  
食品安全検査事業部：茨城県つくば市妻木210-4  
創業：昭和62年12月  
資本金：3,000万円  
従業員：50名  
事業内容：環境計量分析、環境調査、食品安全検査、  
水環境コンサルティング

今月号の「企業探訪」は、つくば市に本社を置く、株式会社環境研究センターです。同社代表取締役社長の片野 明氏にお話を伺いました。

同社は、昭和62年12月につくば市に創業しました。事業内容は、環境計量分析・環境調査・食品安全検査・水環境コンサルティングの4つの部門に分かれています。

同氏のお話から、『研究成果を基に、社会貢献をする』という信念を持って、全部門の技術を集結した『総合力』を最大限発揮して事業を展開すること—これが同社の強みであり、基本となっていることが分かりました。創業から28年間が経った今でも、果敢に新しいことに挑戦し続ける同社は、環境研究業界をけん引する存在となっています。

(インタビュー：平成27年3月3日)

来る水処理専門の会社に就職しました。その会社の本拠地は東京でしたが、私はつくば支社勤務でした。仕事を通じ、研究所等の様々な方と知り合う中で、私の人生に大きな影響を与えた出会いがありました。それは、当社の前社長であり、現会長の田井慎吾氏との出会いです。

同氏は、環境庁国立公害研究所（現 独立行政法人国立環境研究所）で、長年に亘り水環境の研究に従事していました。研究生活を進める中で、同氏は「今まで研究してきた成果を基に、広く社会貢献できる会社を作りたい」という強い想いを抱いていました。私は、同氏の考え方に深く共感し、同氏と他2名の仲間と共に当社を設立することを決意しました。

家族からは、当時勤めていた会社を辞め、新たな会社を設立することについて心配されました。しかし、自分の今まで培ってきた研究の成果を社会に還元できるフィールドを作りたいという想いを伝え、納得してもらうことができました。

### 創業経緯について教えてください。

#### 研究成果を社会のために

私は、学生時代から「水環境」に関する研究に取り組んで来ました。水は全てに繋がる「原点」です。水を研究することは、美味しく安全な飲料水の供給や快適な水処理施設等の運営等、私たちの社会生活をより豊かにすることに繋がります。

社会人になり、今までの研究を活かすことが出

### 事業概要や事業拡大のプロセスについて教えてください。

#### 研究を通して環境問題にアプローチ

高度成長期の日本では、経済を発展させるために多くの自然が破壊され、代わりに多くの建物が建設されました。その結果、環境破壊が進み、工場等からの排水・排煙等が原因で典型7公害（大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤

沈下・悪臭)が発生し、多くの動植物に悪影響を及ぼしました。その後も、ダイオキシン類やシックハウス原因物質、アスベスト等による人的被害、食品の残留農薬の問題、さらには東日本大震災後の放射能問題等、新たな社会問題が次々と発生しました。

当社は、上記のような問題に対して、研究を通して向き合っています。より豊かな社会づくりに貢献していくため、常に試行錯誤しながら、多様なニーズに対応できる体制を整えて来ました。そして現在、以下4部門を柱に事業を展開しています。

1. 環境計測：環境計量証明事業
2. 環境調査：社会環境調査・自然環境調査
3. 食品安全検査：残留農薬検査・食品分析
4. 水環境コンサルティング

環境計測事業は、工場排水や河川水等の水質、排出ガスや大気、土壌、産業廃棄物中の有害物質、工場等の騒音や振動等が、法律や条例で定める規制・基準に適合しているか分析測定を行います。また、事業所内の作業者が快適に過ごすための作業環境測定、住宅や学校のシックハウス原因物質等の測定を行います。



水質分析作業

環境調査事業は、道路、大規模住宅、工場等の開発・立地に伴う環境アセスメントを行います。具体的には、動植物の生育・生息調査と開発の影響評価等です。

食品安全検査事業は、食品中の残留農薬、衛生、食物アレルギー、放射性物質検査等、食品の安全性に係る検査を行います。平成24年には、厚生労働省が食品中の放射性物質の基準を定めました。そこで当社は、エネルギー分解能力に優れたゲルマニウム半導体検出器を導入しました。当機器を使用することにより、一般食品、野菜、牛乳、乳児用食品、飲料水等の基準値に対応した検査を行うことが出来ます。また、精



ゲルマニウム半導体検出器

密な放射能核種検査を実施することも可能です。水環境コンサルティング事業は、主に地方自治体が運営する水処理・汚泥処理に係る調査研究を行います。当事業を通じ、地域の環境保全や資源循環（資源回収）に取り組んでいます。

## 御社が開発された製品「いちぎめくん！」の特徴についてお聞かせください。

### どんな地点も正確に測る

当社の自社製品である「いちぎめくん！」は、衛生測位システムの携帯型通信機を用いた「小型の高精度地点設定システム」です。放射能の



いちぎめくん！

空間線量調査・土壌汚染状況調査・動植物等の自然環境調査等、様々な野外調査で使用することが出来ます。開発は、GPS専門の教師が在籍する独立行政法人国立高等専門学校機構 茨城工業高等専門学校と共同で取り組みました。

当製品の魅力は、「計測したい地点を計測する操作が、簡単かつ正確に測ることができること」です。従来は、衛星測位システムであるGPSのみを受信していましたが、新たにGLONASSを加えました。2つのシステムを受信することにより、測位に用いることができる衛星数が大幅に増えました。その結果、樹木や建物等による障害が低減し、今まで測定しづらかった様々な地点の測位が可能になりました。また、当製品を使用すると、1日100カ所以上の地点設定を1人で作業することが可能です。併せて、専用ソフトを利用することで簡単に報告書を作成することが出来ます。

当製品は、既知点からの補正観測情報を携帯電話や無線を利用して移動局に送信し、移動局の位置をリアルタイムで測定するRTK (L1) 方式を利用しています。その結果、測位地点の誤差は、最小数cmと高精度な測位を実現しました。

さらに、受信機を小型軽量化したことにより、移動局側受信機は、アンテナと共にアンテナポールに固定することが出来るようになりました。これにより作業者の周辺はワイヤレスになり、動きが制限されず快適に作業することが出来るようになりました。



## 計画した調査地点にずりガク

### 正確なので再現性抜群

調査計画の図を作り  
移動局 PC に読み込みます。

マークなしで再度同じ  
地点に戻れます。単独  
測位とは違う!!

移動局とともに歩くだけで、  
調査地点に到着です。



「いちぎめんくん!」の概要

事業を展開していく上で、ご苦労されたことや御社の強み等について教えてください。

### 営業下手の研究職集団

私たちのような研究畑で育ってきた人間は、正直“商売っ気”がありません。設立当初は、営業や事務的な業務をこなすことは、とても大変なことでした。また、会社の知名度も低かったため仕事の依頼が無く、業績が上がらない苦しい時代を過ごしました。

その後、好景気を背景に事業が軌道に乗りました。具体的には100haを超える大規模ゴルフ場開発に係る環境アセスメントの受託です。このような大型物件を年間で複数件受注した結果、大幅に業績を上げることが出来ました。また、仕事を通して多くのお客様との繋がりも増え、さらに既存事業をさらに発展させるためのノウハウを培うことも出来ました。

加えて、前職時代からの研究所等とのご縁も大切にして来たため、様々な情報を得られたことも、事業を拡大することが出来た要因の1つでした。

### 社員の研究に対する熱い想いが会社を育てる

当社の社員は、各人の経験、能力や資質、資格、そして研究への熱い探究心を持って、日々業務に励んでいます。中には、業務とは別に自主研究を進め、海外の学会に参加する等、自分の実力を社外でも高める努力をしている者もいます。

私は社長として、社員一人ひとりが“やりがい”を感じながら完璧に業務を遂行し、かつ自己実現に向かうことが出来る就業環境を提供することが大切であると確信しています。なぜなら、個人の能力を高めることは、結果として会社全体の技術力や業績の向上に繋がるからです。

### 「総合力」で他社と差別化を図る

現時点で、当社の事業と同業他社の事業を単独で比較すると、まだまだ努力しなければならない部分がたくさんあります。また、調査・分析業務は、よほどのことが無い限り、どの会社が調査しても同じ結果が出ます。

では、競合他社との差別化を図るためにはどうしたら良いか。私は、「『研究成果を基に、社会貢献をする』という信念を持って、全部門の技術を集結した『総合力』のある事業を展開すること」—これが当社の強みであり、基本であると確信しています。

茨城県内において、当社のような小規模の企業が、環境計測・環境調査・食料品安全検査・水環境コンサルティング事業という幅広い分野に1社単独で対応することが出来るのは、他には無いと自負しています。

### 経営方針や事業を遂行していく上で大切にしている視点についてお聞かせください。

#### 暮らしを豊かにするための研究

当社は、「高度な測定技術により社会の健全な発展と暮らしの安全安心に貢献する」という経営方針を掲げています。私たちの使命は、高い技術力を持って、開発事業等に係る環境負荷や食品の安全性等を正確に調査・分析し、確かな安全性を提示することで、地域で暮らす人々が安心して生活する環境を提供することです。

これからも様々な社会の課題に対して果敢に挑むため、積極的な新規設備の導入や高度な技術を活かし、環境保全に考慮した持続可能な社会の発展に貢献していきます。



作業風景

## 中立公正な立場からお客様に「安心感」を提供

当社の主なお客様は、自治体や民間事業所です。お客様が大規模開発等を行う際、地域住民と意見がすれ違う場合があります。しかし、どのような場合でも、当社は中立公正な立場から、調査・分析に基づき、公正な評価を提示します。確かな評価を正しく公表し、事業に関わる全ての方が納得と安心感を得られるようにすることが当社の役目です。



土壌分析作業

今後の事業戦略等について教えてください。

## 多様な場面で活躍する製品を目指す

今後は、当社の主力商品である「いちぎめくん！」の単独販売の向上と土壌調査や動植物調査等のコラボレーションによる既存事業の強化に注力していきます。例えば、「田んぼアート」の苗植え等、作品の各要素を正確に「いちぎめ」する必要がある作品の制作に、当製品を使用することが出来るのではないかと考えています。

このように今までは考えつかなかったようなアイデアは、様々な方との交流から生まれるものです。今後も各学会やニッチな分野（隙間市場）と積極的にコラボレーションをしていながら、多くの方々に当製品の魅力を知っていただけるよう努力していきます。また、当社が備える計測・調査部門を活かし、新しい規制項目を速やかに実施出来るようにするだけでなく、分析時間の短縮化も検討していく予定です。

## 「確かな評価」が価値を高める

現在、食品の安全性に対する市民の意識は高まる一方です。今後TPPの導入で、輸入農産品に対する農薬残留等の分析業務が増加すると見込んでいます。一方で、日本から食品を輸出する際、当社がその食品の糖度等の美味しさや栄養価、身体に与える効果等を見える化する役割を担うことで、日本の食品価値を高められると考えています。

さらに、介護事業に対するアプローチも検討しています。例えば、臭い等の環境衛生に係る測定を行い、必要に応じて空気浄化機器を設置し、継続してモニタリングを行うことで、利用者の方が

快適に過ごせる居住空間を作る支援が出来ると考えています。

## 「地域の環境研究」発展のけん引役に

時代は目まぐるしく移り変わっています。国が進める「地方創生」によって、地方もどんどん変化していくでしょう。私は社長として、この時代の変化と地域のニーズを見極める必要があります。

今後は、自治体に対して積極的に業務を提案していくことが必要になって来ます。当社の強みである計測・調査・コンサルティングを合わせた「総合力」を最大限に活かし、茨城県の環境研究業界をけん引していきたいと思っています。

最後に、今後の経営に対する考えや社長様ご自身の夢、好きな言葉等について教えてください。

## “One For All, All For One”

社長の使命は、「安定的な雇用継続と企業としての社会貢献」です。私は、社員1人ひとりの自己実現を後押しする環境づくりを進めながら、全員がベクトルを合わせて一緒に歩み続けられるよう努力して参ります。

また私は、「茨城県環境分析協議会」の会長も務めており、当社を含めた業界全体の発展に貢献できるように尽力したいです。

## 研究への熱い想いを次の世代へ

私の夢は、もう一度研究職に就くことです。退職後は、一技術者として今まで培ってきた経験や知識という「糧」を次の世代へ繋げていきたいと思っています。

この度は、長時間にわたり貴重なお話をお聞かせいただきまして、誠にありがとうございました。貴社の今後ますますのご発展をご祈念いたします。



片野社長(右)と聞き手・木下康之